

# JICA中部 外国人支援・多文化共生の 取り組み

提案型事業

# 東海地域から発信！ 外国人支援・ 多文化共生事業

## ■ 目的

東海地域の外国人材受入・多文化共生の課題への貢献及び多様なアクターの活動支援

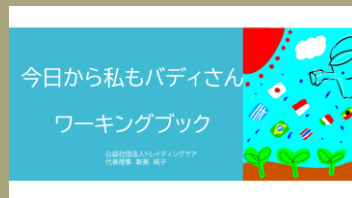
## ■ 対象となる事業

- ①外国人材の適正な受入・多文化共生の課題解決に資する事業または事業化に必要な調査。
- ②外国人材の適正な受入・多文化共生を促進、定着、普及するための事業。
- ③以下の受講者を対象とすることを条件とし、東海地域の NGO 等の能力強化に資する技術や知識の研修事業。
  - i) 日本国内にて開発教育/国際理解教育・外国人支援等の国際協力に係る活動を実施している NGO 等のスタッフ及び教員等。
  - ii) 主に、開発途上国にて国際協力活動を実施している又はこれから実施予定の NGO 等のスタッフ。

## ■ 採択案件(3件)

- ・ 訪日前の日本文化理解事業  
(一般社団法人国際パートナーシップセンター)
- ・ 愛知県・岐阜県の在住フィリピン人の支援への入り口を阻む課題調査  
(特定非営利活動法人アイキャン)
- ・ 「美」から広がるキャリア教育ワークショップ  
(一般社団法人DiVE.tv)

# バディシステム



## バディとは？

ベルギーで移民・難民が急増した際に、地域住民との間で生じた問題の解決に成果を上げたバディ(相棒)の事例を参考に、公益社団法人 트레이ディングケアが愛知県高浜市で実践している取り組み。

### ■バディセミナーの開催

- ・ 2021年度 バディセミナー初級編、入門編

参加者：197名

- ・ 2022年度 バディセミナー実践編

参加者：7名

### ■教材の作成

冊子、ワーキングブック、動画をJICA中部HPで公開中

こちらからご覧ください →



HICEとJICA浜松デスクでバディの取り組みを推進中。  
「KorekaraBuddy」

# 海外にルーツを持つ児童・生徒の教育を考えるフォーラム



## ■実施の背景

- ・ 東海地域は先進的な取り組み事例が多い
- ・ 学校では外国籍児童が多数在籍し、地域や教育現場での課題が多く、近年では児童の多国籍化から教育現場での課題も多様化している

## ■目的

- ①教員への情報提供
- ②先進的な取り組みアイデアの共有
- ③ネットワークの構築

## ■これまでのテーマ

- ・ 2020年度：東海4県の受入体制の現状と課題の共有
- ・ 2021年度：地域事例報告、日系ブラジル人の経験談
- ・ 2022年度：キャリア形成、進学・就職支援について

2020年度 ↓



2021年度 ↓



2022年度 →



## 2022年度 多文化共生パートナー育成講座

# 「with DIVERSITY

～知る、つながる、共に暮らす～

2022年度多文化共生パートナー育成講座

**参加費 無料!**

# with DIVERSITY

～知る、つながる、共に暮らす～

DIVERSITY (多様性) を尊重しあう社会では、すべての人は自分らしく生きることができ、活力ある未来を創造することができます。日本でもDIVERSITYに取り組みコミュニティは増えているものの、真のDIVERSITY実現のためには、社会全体での意識改革が不可欠です。本講座は、多文化共生を阻む根本的問題である無意識の差別・偏見 (= マイクロアグレッション) を理解し、講義やワークショップ、現場からの報告を通して、現状や課題を知り、問題解決のためのアクションを考え、参加者が地域と海外ルーツの市民や団体とつなげる橋渡し役となることを目指します。多文化共生に関心のあるユース向けに全3回の講座を実施し、3回の講座を受講いただいた方には終了証をお渡しします。

マイクログレッションとは、  
「特定の個人に対して罵る集団を理由に恥めるメッセージを送るちゃんとした、日々のやりとりである。」  
『オールドファッション』15年度多文化共生推進部主催「マイクログレッション」研究発表、2020年、明治大学  
#Micro-aggression=無意識な攻撃行為の集合 無意識/無自覚な差別

第1回は金 友子氏 (立命館大学国際関係学部准教授) を講師に迎え、基礎講座とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、無意識の差別・偏見について理解します。  
なお、基礎講座のみ一般の方の視聴が可能です。  
各回の詳細は裏面をご覧ください。

第2回は金 友子氏 (立命館大学国際関係学部准教授) を講師に迎え、基礎講座とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、無意識の差別・偏見について理解します。  
なお、基礎講座のみ一般の方の視聴が可能です。  
各回の詳細は裏面をご覧ください。

第3回は金 友子氏 (立命館大学国際関係学部准教授) を講師に迎え、基礎講座とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、無意識の差別・偏見について理解します。  
なお、基礎講座のみ一般の方の視聴が可能です。  
各回の詳細は裏面をご覧ください。

第1回は金 友子氏 (立命館大学国際関係学部准教授) を講師に迎え、基礎講座とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、無意識の差別・偏見について理解します。  
なお、基礎講座のみ一般の方の視聴が可能です。  
各回の詳細は裏面をご覧ください。

## ■ 概要

- ・ 対象：ユース（学生、35歳以下若手社会人）
- ・ 目的：無意識の差別・偏見（= マイクログレッション）が多文化共生における諸問題の根本の問題出ることを理解し、参加者が地域と海外ルーツの市民や団体とつなげる橋渡し役となることを目的に実施。
- ・ 全3回（第1回基調講演のみ、一般も対象）

### 第1回：基礎講座（参加者：ユース31名、一般22名）

金友子氏（立命館大学国際関係学部准教授）の基調講演とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、マイクログレッションについて理解し、自己を振り返り、気づきのプロセスを持つ講座。

### 第2回：選択講座（参加者：26名）

海外ルーツの市民のライフステージについて3つの分野（教育、労働、老い）に分かれ、現状と課題を知り、問題の根幹は何かを考え、アクションにつながるヒントを得る講座。

### 第3回：アクション発表会（3/19実施）

第2回を踏まえ、地域と海外ルーツの市民をつなぐ橋渡し役として、グループで課題解決に向けたアクションを検討。アイデアは全体で共有し、有識者（行政、当事者団体、専門家）から講評。

## ■ アンケート分析（第1回のみ、回答率45.2%）

- ・ 講座の満足度：基調講演 4.38、ワークショップ 4.0
- ・ 参加者：学生が最も多く、その他自治体、NGO等、教育関係、民間等幅広い。  
一定の大学が多く、そのほかの大学・ユースへのアプローチは課題。

# その他の 外国人材・ 多文化共生の 取り組み

- 日系社会研修(多文化共生推進/NIKKEI協力型) “NIKKEIサポーター”
  - ・ 在日日系ブラジル人へのソーシャルワーク (可児市)
  - ・ 日系ブラジル人とのカウンセリングを通じた多文化共生 (豊橋市)
  - ・ 外国人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」で学ぶ複文化メディエーター研修 (浜松市)
  - ・ ラテンアメリカからの子どもたちのための日本語指導者養成 (浜松市)
- 名古屋出入国在留管理局との連携
  - ・ 外国人相談会
  - ・ デジタルフォーラム
- 三重県国際交流財団との共催シンポジウム (三重県国際交流財団)
- 国際展示&国際交流フェスタ (三重県名張市)
- ネパール国籍等住民に関する意見交換会 (岐阜県下呂市)
- ハマルおんがくプロジェクト (浜松市)
- 音楽×多文化「多文化フェスタはままつ2022」 (浜松市)
- スポーツ×多文化「多文化SHIZUカップ」 (浜松市)
- 移民劇を通じた多文化共生促進教育プログラム (浜松市)